

No. 5

1982年

# 同窓会より

— 発行 —

旭川荘厚生専門学院同窓会

岡山市祇園地先

TEL 75-0145

— 編集責任者 —

同窓会会長 守屋 礼子



母校の新築第二号館  
と正門附近

## 「たより第5号」に寄せて

同窓会長 守屋 礼子

また「たより」の季節がやってまいりました。  
年に一度の「たより」を愉しく中味のあるものにしたと思うのですが、力が及ばず申し訳なく存じます。それでもおせいの皆様から「近況」をお寄せいただき、

紙面を飾ることができました。本年は第十期(第1看は二期)生一五五名を仲間に加えて、同窓生は総勢一〇六四名を数えるに至りました。母校ではリズム棟、第二号館が建設され、また川ぞいの護岸、埋め立てがなされるなど、すっきりみちがえるようになりました。保育・看護の高まちな教育目標の達成にむけての条件整備で一步一歩確実にすすめられているのを強く感じます。  
私たち同窓生もいよいよお互いの連絡を密にし、はげまし合い、助けあっていきたいものと切に願っております。  
今年も学院祭を機として同窓会の総会を開きます。毎年懐かしいお顔の数々に接し、感激もひとしおです。  
どうぞお繰り合わせの上、皆さんのご参加を心よりお待ちしております。



### 同窓会案内

日時 十一月七日(日) 十一時～十二時  
場所 母校



江草学院長文化賞受賞祝賀会

学院長 江草安彦先生  
岡山県文化賞受賞

江草安彦学院長が昭和五十七年度の岡山県文化賞を受賞されました。その賞は、岡山県の学術文化の向上に著しく貢献されている方々

### 学院祭案内

統一テーマ  
顔ー今あなたは輝いてますか。  
日時 十一月六日(土) 十時～十六時  
十一月七日(日) 十時～十八時三十分



の中から選ばれるもので、大変光栄ある賞です。この受賞を祝って四月二十四日、岡山駅前ホテルニューオカヤマに於いて、岡山県知事をはじめ各界の方々、相集って盛大な祝賀会が開かれました。旭川荘でもこの栄えある文化賞の受賞を、およろこび申しあげようと、五月一日学院新築第二号館を会場として祝賀パーティを開きました。  
私たち同窓生にとりましても、限りないよろこびでありますので、ここにお知らせして、ともどもに先生の益々のご活躍を祈念したいと思っております。

# 学院だより

顧問 長安一郎

卒業生のみなさん、お元気ですか。学院では昨年九月着工、本年三月、本館の西側パレコートに鉄筋コンクリート三階建第二号館（九四八平方メートル）の建設を竣工しました。

一階は図書館、二階は普通教室とセミナー室、三階は普通教室と教材室となっております。本年の同窓会総会は、この新館第二号館で開いていただきたいものです。

学生については、本年三月第十回卒業で、保育料五二名、第一看護科五六名、第二看護科四七名、計一五五名をお送りしました。第一回卒業からの総計は一〇六四名の卒業生数となりました。

そして四月の新年度には保育料五五名、第一看護科九四名、第二看護科五九名、計二〇八名の新生を迎えて、現在学生数は四五九名となっております。

次に、職員については、看護科の景山先生と河田先生は三月末で



第2号館 図書閲覧室

### 各年度の学生数

年度	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57
保育料	29	34	30	44	40	36	69	77	76	67	109	110
看護科								43	100	150	193	229
計	60	165	166	200	217	223	248	281	300	358	410	459

### 卒業生数

年度	第1回(46.3)	第2回(47.3)	第3回(48.3)	第4回(49.3)	第5回(50.3)	第6回(51.3)	第7回(52.3)	第8回(53.3)	第9回(54.3)	第10回(55.3)	第11回(56.3)	計
保育料	28	24	25	16	32	32	36	47	34	52	52	310
看護科									36	56	92	92
計	43	55	68	79	68	68	102	54	57	47	47	662

して新らしく二人の副院長として、香山一夫先生（庶務課長事務取扱）と二宮稔先生（学生課長事務取扱）を迎えました。

学院は創立十二年目を迎えて、施設、環境の整備と教育内容の充実を目途して頑張っております。

また事務室では、久松先生が副院長になられ、庶務課長の小出先生は倉敷の特別養護老人ホームの事務局長に転職されました。そ

## 近況

### 第一看護科 村下 志保子

みなさん、お元気ですか。私も学院を卒業して、二年目になりました。今年の四月より児童院で、保健婦として働くことになりました。何もわからないままに、五ヶ月ほどたちました。不安でいっぱいな毎日ですが、見覚えのある顔に出会って、とても心強い感じがします。これからも、私は私なりにガンバっていきたいと思いますので、みなさん応援して下さいネ。

### 第一看護科 高尾 純子

梅雨だというのに二日程雨が降ったさきで、毎日暑い日が続いていますね。

そんな中、やっと慣れかけた病院で毎日忙がしく動き回っています。（上の方々に迷惑ばかりで本当に申し訳ないような毎日ですが）一日でも早く上の方々に迷惑がかけられないようにと思うのですが、なかなかそうはいきません。

救命センターのICUでは六月中旬一時Ptの数が減りましたが、殆んど入れかわりたちかわりで大忙しの毎日です。

希望して入ったものの一時は自分が何もできないのが本当に情けなくて、何でもこなす所希望したり

同窓会のみなさんも各地で頑張ってください。それから来る十一月七日（日）は第十一回学院祭と同窓会定期総会が母校で開催されます。みなさんおさそい合わせの上是非母校を訪ねてください。お待ちしております。

なんかしたんだらうと落ち込んだ時もありましたが先輩達がその都度励ましてくださって今はここで良かったと思っております。

それではこの辺りで終わらせていただきます。学院の先生方々によりしくお伝え下さいませ。

おそくなりまして申し訳ありませんでした。

### 看護科 安達 文子

K8の術機、お元気ですか。それぞれの職場で、それなりに生活なさっておられますか。

お約束した、三年が参ります、覚えて下さっていますか。去る六月二十日、岡山在住の奥様達が、久しぶりに会って時間のたつのも忘れてベチャクチャミミ。そして決定、全員集合ノ五八年一月下旬頃、第一回クラス会開催宣言ノします。皆様の变身ぶりを御披露下さい。楽しみにお待ち致して居ります。つるも話しても沢山あります。詳細は後日連絡致しますので、新姓名、新住所などお知らせ下さい。お友達のもわかれはお願ひします。一寸お知らせ、奥様達とは

久木澄子（根木）、八木美智子（竹原）、平田青子（三宅）、奥江操子、工藤幸子、安達文子です。

### 第一看護科 松島 幸子

学院を卒業してはや半年が来よ

## 学院の沿革

- 昭44・9・27 日本自転車振興会へ学院創設のため施設補助金交付の要望書提出
- 昭45・4・1 日本自転車振興会より補助金交付の内定通知
- 昭45・10・12 第一期工事竣工式
- 昭46・3・31 厚生大臣より看護婦養成所の指定と保母養成学校としての指定を同時に受ける
- 昭46・4・1 初代学院長に堀川竜一就任
- 昭46・4・12 開学式並びに第一期入学宣誓式（保育料29名、看護料51名入学）
- 昭46・4・23 第一期工事落成式
- 昭46・8・10 第二期工事着工
- 昭47・1・31 第二期工事竣工
- 昭47・11・4/5 第一回学院祭
- 統一テーマ 生
- 昭48・3・20 第一回卒業証書授与式（保育料28名、看護料43名卒業）
- 昭48・4・1 第2代学院長に江草安彦就任
- 昭48・11・10/11 第2回学院祭
- 統一テーマ ふれあい
- 昭49・4・1 第3代学院長に笹野光二就任
- 昭49・4・1 看護科の入学定員50名を90名に増員
- 昭49・11・9/10 第3回学院祭
- 統一テーマ 若者
- 昭50・3・18 学院数制定、発表会
- 昭50・4・1 第4代学院長に江草安彦就任
- 昭50・11・8/9 第4回学院祭
- 統一テーマ 出会へ
- 昭51・6・1 学校教育法に基づく専修学校の認可を受ける。
- 昭51・11・6/7 第5回学院祭

うとしています。今年三月に一緒に卒業した方々も今はもう新しい環境にも仕事にも慣れ、各々の職場で頑張っていることと思います。私も学院で学んだ事のひとつひとつがいかに大切か今頃になってやっと身にしみて感じる事がありません。三年生での病院実習は、正直言って楽しいことばかりではありませんでしたが出席するだけがやっとだった日のことや、実習が終わりに近づくと、あと三日、あと二日、と励まし合っていた頃のことを懐しく思い出すようになります。そして、むずかしかった看護計画、ドキドキして行った初めての処置、患者さんを目の前にしてとまどったことなど、楽しさと、緊張と苦痛の日々は、実際看護婦として職場に入ってから自分の手でケアを行ったとき初めて身につくものだと感じるようになりまし。ちよびりの満足感と責任、大きな不安、そして何よりも休日の安堵感、あわただしい毎日は、それでも何とか一日一日過ぎて行きます。しかし、これからどんな大きな壁にぶつかるかわかりません。私たちは、感情ある人間の生命にかかわる仕事をしており、またスタッフのチームワークの大切な仕事です。一人前の看護婦になれるのは何年先になるかわかりませんが、挫折することなく、常に反省と学習が出来る看護婦でいられたらと思っています。私は、幸い高校時代からの希望の職場で働くことができ、学院にも近いのですが、お世話になった先生方にもなかなかお会いする機会がなく、他の病院へ就職された方々ともめったに話すことが出来ず、久しぶりに皆が集えば思い出話や各々の職場のことや悩みなど話に

花を咲かせることが出来ると思います。そしてその日が近いことを楽しみにしている今日この頃です。

**看護科 第三期生 野田しのぶ**

おたより遅れ申し訳けございません。私もこちらへ来まして早、六年になります。看護に全力投球のためか？まだ結婚もせず独身生活を楽しんでいます（これは強がりかな）。看護は、やればやるだけむつかしいものではないかと今頃思うようになりまし（今頃遅れているのかな）。元気に看護にがんばっております。ゆえ他事ながらご安心下さいませ。

**看護科 第五期生 泉 みや子**

雨にぬれた緑の美しい季節ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。私も岡山を離れ、六年目になろうとしています。今年三月優しい男性とめぐりあい結婚し、今では看護婦を続けながら、楽しい毎日を送っています。お近くにお立ち寄りの際は、ぜひおこし下さい。これからの皆様の御健康、御発展お祈りしております。

**看護科 第六期生 戸田 つゆ子**

長雨の日々いかがお過ごしでしょうか。先日主人と二人で旭川荘のすぐそばでつりを楽しみました。四年ぶりにみる建物、風景など眺め懐かしいひとときでした。結婚してから二年間は高知に転勤し岡山にもどってきたのは、去年の八月、もうすぐ一年になります。長男がもうすぐ三才二男が一才になったばかりです。

ちよこちよこ病気をして医者通いは欠かせません。悩みといったらそれくらいです。この夏、プールに海に家族全員まっ黒に焼いて元気に過ごせたらと計画中です。先生方にもお逢いしたいと思っております。その日を楽しみにしております。

**看護科 第六期生 長野良枝**

第六期卒業のみなさんこんにちは。お元気ですか？私は五月十五日から十四日間、日中友好福岡県青年の船に乗り、中国を訪問する機会を得てさまざまな経験をすることができました。三〇〇数十名の中で多くの友と出会い、豪華客船での船旅も初めてでした。どこまでも果てしない水平線に沈む夕陽に感動し、上陸後は国交正常化十周年ということもあり過大な熱烈歓迎を受け日中友好親善の使命を改めて強く感じたものでした。

**看護科 第八期生 工藤幸子**

「三年目のクラス会いつ頃に行うか」こんな話が出たのはつい先日のことでした。卒業してもう三年にもなるんだなあ。子供の手を引きバスに乗り片道一時間半をかけての通学も今では遠い昔のことの様に思われます。ただただがむしゃらに通った二年間でしたが旭川荘の学院に行くと良かった、荘内で実習ができて良かった、障害児に接したことのない私には荘内の児童は教科書以上に色々な事を教え考えさせてくれました。苦しかった事も忘れ今では良かった良かったの思い出ばかり。在校生の皆様、長い一生の短い二年間（三年間）どうぞ有意義に過ごして下さいね。二看の8回生の皆様お会いできる日を楽しみに

**看護科 第八期生 萬原幸恵**

梅雨に入ったとはいえ暑い日が続いています。皆様にはお変わりございませんか。私も思いがけず一児の母となり毎日充実しております。旭川療育園での仕事柄、児をかわいいとつねづね感じていたのですが、我児となれば、又違った思いがするものです。現在育児休業中（九月中旬まで）なので思いっきりゆったりとしています。暑さも厳しくなっています。お身体に気をつけて下さい。

**看護科 第八期生 工藤幸子**

「三年目のクラス会いつ頃に行うか」こんな話が出たのはつい先日のことでした。卒業してもう三年にもなるんだなあ。子供の手を引きバスに乗り片道一時間半をかけての通学も今では遠い昔のことの様に思われます。ただただがむしゃらに通った二年間でしたが旭川荘の学院に行くと良かった、荘内で実習ができて良かった、障害児に接したことのない私には荘内の児童は教科書以上に色々な事を教え考えさせてくれました。苦しかった事も忘れ今では良かった良かったの思い出ばかり。在校生の皆様、長い一生の短い二年間（三年間）どうぞ有意義に過ごして下さいね。二看の8回生の皆様お会いできる日を楽しみに

た。今は船の会の先輩、仲間たちとボランティア活動に励んでいます。まだまだ当分、お嫁に行けそうもありません。第六期生の皆さん、会いたいですね。同窓会をしませんか？よろしく。

- 統一テーマ マイ・ウェイ  
 昭51・11・7 同窓会設立  
 昭52・11・5/6 第6回学院祭  
 統一テーマ やさしさ  
 昭52・12・24 昭和53年度より第一看護科新設（入学定員50名）と従来の看護科を第二看護科（入学定員を50名）とすることを厚生省より承認される。  
 昭53・11・4/5 第7回学院祭  
 統一テーマ ふれあい  
 昭54・5・31 旭川荘理事会において福祉医療ヘルパー科併設を承認  
 昭54・11・2/4 第8回学院祭  
 統一テーマ  
**HAND・HAND**  
 昭55・8・30 第一看護科入学定員50名を80名と増員する学則変更承認申請書を厚生大臣に提出  
 昭55・9・26 日本自転車振興会へ第一看護科定員増に伴う施設増築費並びに初年度弁費の補助申請書提出  
 昭55・10・11 新リズム室棟竣工式  
 昭55・11・1/2 第9回学院祭  
 統一テーマ 無限の軌道  
 昭56・2・10 第一看護科入学定員50名を80名に増員する学則変更が厚生省より承認  
 昭56・5・17 創立10周年記念式並びにリズム室棟落成式  
 昭56・7・9 日本自転車振興会より第一看護科定員増に伴う施設増築費並びに初年度弁費の補助金交付決定通知受理  
 昭56・9・7 日本自転車振興会の補助による新第2号館建築工事の起工式  
 昭56・10・31/11・1 第10回学院祭  
 統一テーマ  
**エンドレス・ステップ**  
 昭57・4・6 第2号館落成式

しております。

看護科 豊満 さとみ

同窓会の皆様お元気でしょうか。卒業して大阪に来て一年半が過ぎました。旭川施設の子供たち、学院の先生方、たくさんの友……みんなないかがおすごしでしょうか。こちらの病院では心臓外科と外科の混合病棟で働いています。常に緊張感の中で市立病院では、地域医療といえる程、市民に良い医療を提供できているといえるのか、常に疑問ばかりです。岡山での二年間は敬老園でのバイト、沢山の人の出逢い、貴重なときそのものでした。

それでは皆さんとの再会を楽しみにして……

看護科 道綱 清美

九期生の皆さん、お元気で看護の道を進んでいますか。

卒業して一年が過ぎ、結婚していらっしやる方もおられるでしょうが、私は進歩せず、児童院の子供達と一緒に頑張っています。卒業して一年が過ぎたところで、一度顔合せをしませんか。いつ頃がよいからお知らせ下さい。児童院の野田(旧石崎)、道綱迄よろしく。

保育科 石原 啓子

今年の梅雨はあまり雨も降らず割合と過ごし易い様です。我が家の子供達もずいぶん大きくなって(小三・六才)にくまれ口を毎日言い合いけんかがたえませんが、親である私の方も子供等に負けない様に体力も返答も考えなければならず、公私共に十年一日のごとく忙しい毎日です。

あゆみ保育園で九年目、六年前から調理師の資格をとり給食の先生?(オバチャン)でがんばっています。今この仕事が大変おもしろく毎日張り切っています。夕方帰宅するとやはり年かな? (少々バテ気味)としばしば反省するのです。今年度から保育科卒のピチピチの先生(土井さん)も我々の仲間として共に働くようになりまし。又新たな気分仕事に学習に努力していきたいと思います。そして子供達の健やかな成長をめざす為にもより一層の努力を必要とする時期だと思います。

保育科 末松 静子

愛媛県松山の川人(旧姓)節子(保育科一期生)現在和気節子に昨年の夏ベビー誕生(女児)七月で十二ヶ月目。御亭主は国立病院にお勤めの調理師さん。夫婦仲よく。自宅は愛媛県温泉郡重信町樋口八三

保育科 藤川 訓子

暑中御見舞申し上げます。学院の先生方も夏休みに入られていると思います。便りが遅れ申し訳けありませんでした。住所が変更になりました。訂正をお願い致します。学院を去ってもう七年になるのかとつくづく日々の過ぎる速さに考えさせられております。この一年転居、移動等で、私の生活もずいぶん変わりました。卒業以来勤務していた板橋区からこの四月高野区の保育園へ移動出来、通勤時間も一時間と短縮できましたが、育児に家事に職場にと、毎日あわただしい日々を過ごしております。主人と主人の両親の協力で、今だ

保育科 萩尾 弥生

保母の仕事が続いております。今後もきつと勤め続けるのではと思いますが、職場の古だぬきにならぬ様にと常に考えている私です。以上、今の近況及び心境ですが、学院の皆さま様に宜しくお伝え下さいます。

保育科 栄野 恵美子

私、只今育児戦争始ったばかりの新米ママ。学院時代にしっかりと学んだ保育の知識と技術、そしてあふれんばかりの愛情で「さあ、我子をとのように育てようか」「と、ちょっぴり意気こんではみたものの、現実の我子(五七・四・七生)は親の苦労とは無関係のところ、いつの間にかけこうすくすく元気に育っているようです。(机上の知識役に立たず?)とい

うわけで、のんびり育児に徹して一年後に生まれた愛児と愛する夫に囲まれて、幸せな日々を毎日です。PS 編集委員の皆様、大変遅くなり申し訳ありません。

保育科 田村 美智子

お久しぶりです。皆さんお元気ですか。岡山には、しばらく足を運んでいませんのでとても懐かしく思います。二年間、施設でアルバイトをしながらの学院生活は、眠くてつらい時もありましたが、充実していた日々の思い出として、心に強く残っています。また、学院での勉強の他に、施設でも色々学びとる事が出来、貴重な体験をさせていだいたと思っております。今でもこの時のバイト体験が、仕事に大いに役立っています。

保育科 茂木 サダ子

東京にきて三度目の夏を迎え様とじています。私が小さい頃からあこがれていた保母になった現在も夢の様な気持ちです。しかし、来年は保母として勤める事ができないかも知れない、秋田に帰る予定で決めた事です。今までの様に自由きままに生きて行くわけにはいかず、両親とともに苦しい事、悲しい事と色々あると思いますが、いつ何ときでも、立ち向って行ける強い人でありたいものです。

編集後記

同窓生の皆さんのお便りを拝読していると、一人一人のなつかしい顔が浮んでくるようです。同窓会だよりも五号目をむかえ、やっと軌道にのって来ました。同窓生の皆さんのご協力のたまものと感謝しております。

